

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](令和 1年 11月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)
廃プラスチック類	0.0000 (t/月)
ゴムくず	0.0000 (t/月)
金属くず	0.0000 (t/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	0.0000 (t/月)
がれき類	0.0000 (t/月)
アスベスト含有 ガラス、陶磁器	10.1200 (t/月)
“ がれき	0.0000 (t/月)
“ 他	0.0000 (t/月)
	10.1200 (t/月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	4台 4回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り
安定型産業廃棄物以外の廃棄物の付着又は混入が認められた年月日	令和 年 月 日
	令和 年 月 日
	令和 年 月 日
	令和 年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1(浸透水採水2号)	
採取日	令和1年11月11日	
分析結果が得られた日	令和1年11月15日	
BOD*2		基準値 20mg/l以下
COD*2	8.8mg/l	基準値 40mg/l以下
異常の有無	有・無	
必要な措置を講じた年月日とその内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1
採取日	令和1年11月11日	令和1年11月18日	令和 年 月 日
分析結果が得られた日	令和1年11月15日	令和1年11月22日	令和 年 月 日
分析結果	別紙1「場内見取図」及び「地下水の計量証明書」綴りの通り*3	別紙1「場内見取図」及び「地下水の計量証明書」綴りの通り*3	別紙1「場内見取図」及び「地下水の計量証明書」綴りの通り*3
異常の有無	有・無	有・無	有・無
必要な措置を講じた年月日とその内容	10月7日採水の井戸から「鉛」が検出された原因を特定する為、検出された地下水観測井戸の管壁、ジョイント、ストレーナー部分を11月5日に洗浄。そこから一週間後の11月11日に検査項目を「鉛、PH、電気伝導率、透視度、浮遊物質量」の5項目にし、現地で立会し、採水。サンプルを採取。15日の速報値を環境センターへ。環境基準値を超過する異常値なし。	11月11日のさらに一週間後の18日に11日同様の採水・分析、サンプル採取を実施。22日、分析速報値を入手。いずれの井戸も環境基準値を超過する異常値なし。(環境センターへ報告)結果をうけて、10月の鉛検出の原因報告を①採水時のトラブルか②自然由来かは特定しかねるが、異常値は、一過性のもので廃棄物由来ではないという主旨の報告書を	11月28日に環境センターに提出。今後の継続的監視等採水の2~3週間前に井戸の管内を洗浄し、外的な阻害要因をなくしつつ、検査項目を増やして(透視度、浮遊物質量)分析をするよう指導頂いた。尚、原状回復作業を2月末を目途に完了し、その後、処分場への立ち入り検査を実施したいとの話があり、今後原状回復の完了を急ピッチで実施。

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

点検日	擁壁等
点検日	令和1年11月11日
異常の有無	有・無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容*4	「場内の原状回復作業の進捗」場内の砂移動を実施。 地下水検査異常により「安全管理上」10月31日から受入れ、埋立を休止していましたが、11月29日から再開することになりました。 原状回復作業の続きは、来年2月末を目途に終了する計画を立案中。(環境センターより指導あり)

*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか「計量証明書」を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。